

調査レポート

アジア経済概況(2014年7・8月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・景気回復のペースは再び緩やかに…………… p.1
- 2. 中国の主要指標解説:最近の国際収支状況…………… p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+3.7%に加速…………… p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・景気は依然として低迷…………… p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+0.4%に持ち直し…………… p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・4-6月期の成長率は+5.1%と小幅鈍化…………… p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標…………… p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・景気に緩やかながら持ち直しの動きがみえる…………… p.9
- 5. インド経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+5.7%に加速…………… p.10

- . アジア通貨・株価動向…………… p.11

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1070

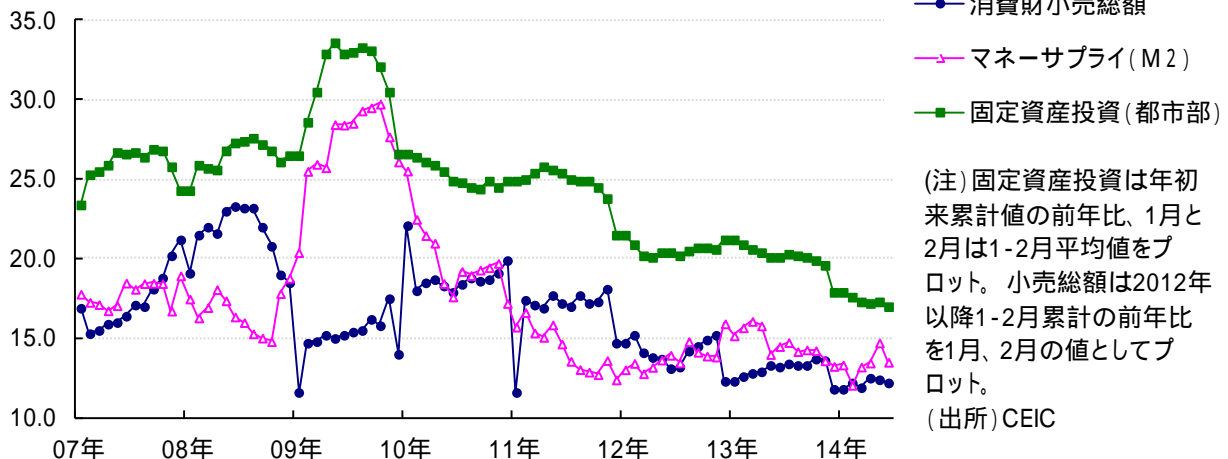
・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気回復のペースは再び緩やかになっている。
- ・ 8月の製造業購買担当者指数（PMI）は51.1と前月（51.7）から0.6ポイント低下した。新規受注、生産などすべての構成項目でポイントが低下しており、2014年2月以降5カ月続いていた上昇傾向は止まった。4月以降のミニ刺激策がリーマン・ショック後の4兆元の景気対策とは異なり、的を絞ったものであり、その効果も政府が意図したように限定的であるようだ。ただし、2012年10月以降、景気の拡大と縮小の分岐点である50を23カ月連続して上回っており、緩やかながらも景気回復は続いているとみられる。
- ・ 7月の消費（消費財小売総額：名目）は前年比+12.2%と6月の同+12.4%から0.2ポイント鈍化した。実質ベースでも同+10.5%と前月（同+10.7%）に比べて0.2ポイント鈍化しており、節約令の影響が続いているとみられる。
- ・ 1-7月の投資（固定資産投資）は前年比+17.0%と1-6月期の同+17.3%から0.3ポイント鈍化した。ただし、景気刺激策によって投資額が上積みされた鉄道部門の投資は1-6月期同+14.2%、1-7月期同+19.6%と伸び率が高まっている。
- ・ 輸出は7月の前年比+14.5%に続き、8月も同+9.4%と堅調に推移している。地域別にはEU（同+12.5%）、米国（同+11.4%）に加えてロシア（同+27.1%）、インド（同+23.6%）、ASEAN（同+13.0%）向けの輸出も大幅に増加した。
- ・ 7月の消費者物価上昇率は、食品価格の上昇率が前年比+3.6%と前月（同+3.7%）に引き続き安定した水準で推移したことから、前月と同じ同+2.3%と政府目標（同+3.5%）を下回る安定圏にある。7月の生産者物価は、前年比-0.9%と依然として前年比マイナスながら、景気の緩やかな回復を反映して前月（同-1.1%）に比べてさらにマイナス幅が縮小している。

(前年比、%)

中国：主要経済指標の推移



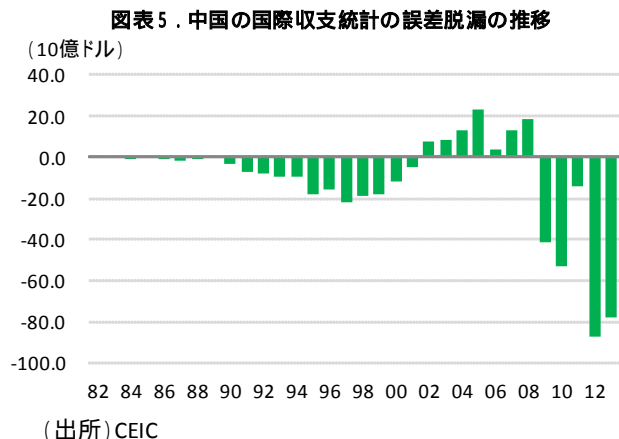
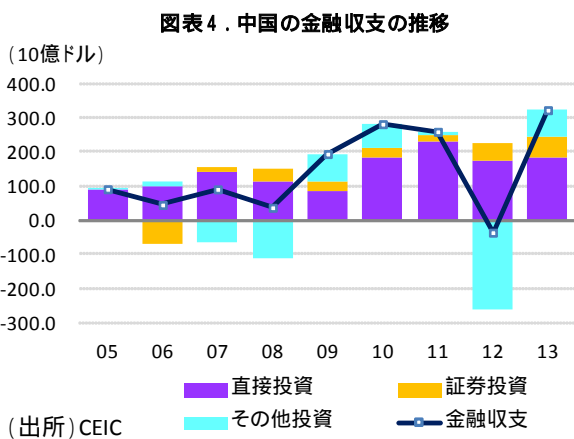
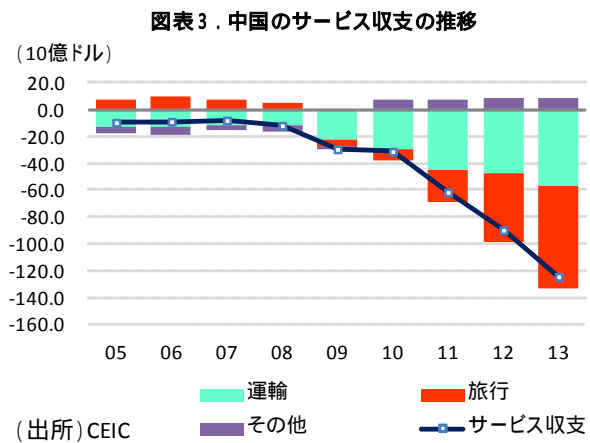
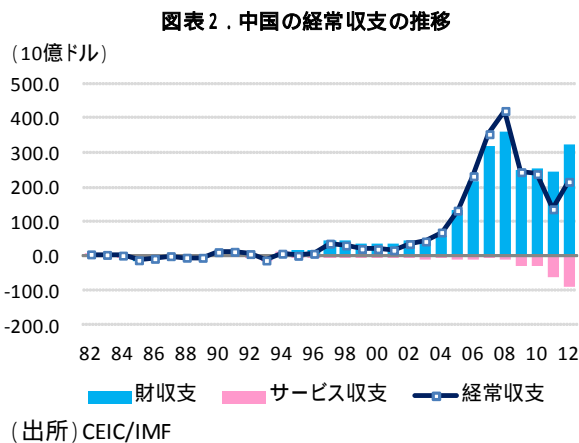
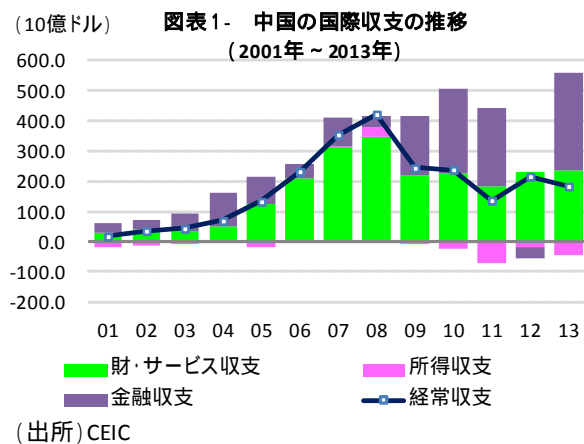
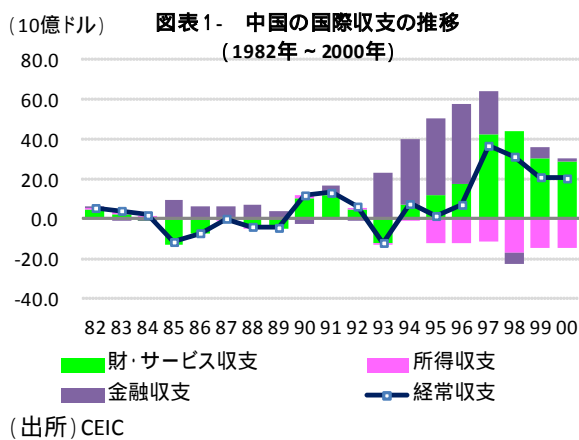
【中国・香港の主要経済指標】

			2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.8	2.3	1.7	1.5	2.0			
			前年比%				7.5	7.8	7.7	7.4	7.5			
		(累計ベース)	前年比%	9.3	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7	7.4	7.4			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	9.8	9.5	8.8	9.4	9.5	7.9	8.5			
	消費	消費財小売総額	前年比%	17.1	14.2	13.2	13.0	13.3	13.5	12.2	12.3	12.4	12.2	
		うち都市部	前年比%	17.2	14.2	13.0	12.7	13.0	13.4	12.1	12.1	12.3	12.1	
		うち農村部	前年比%	16.6	14.5	14.8	14.6	15.0	14.7	12.9	13.5	13.4	13.2	
		自動車販売台数	前年比%	2.5	4.3	13.9	11.4	13.6	17.4	9.2	7.5	5.2	6.7	
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	5.2	7.1	15.7	10.4	14.5	20.3	10.1	12.3	11.4	9.7	
		消費者自信指数	期中平均	103.3	102.4	101.2	99.9	98.3	101.4	104.0	103.9	104.7	104.4	
		消費者期待指数	期中平均	106.6	106.9	105.5	103.8	102.0	105.7	108.1	107.3	108.9	108.0	
	投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	23.8	20.6	19.6	20.1	20.2	19.6	17.6	17.3	17.3	17.0	
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	22.1	20.3	22.9	21.0	20.3	16.3	14.1	14.1	14.0	
		うち国内企業	前年比%	24.7	21.2	20.5	21.3	21.0	20.5	19.0	18.3	18.3	17.9	
		うち製造業	前年比%	31.8	22.0	18.5	17.1	18.5	18.5	15.2	14.8	14.8	14.6	
		うち鉄鋼	前年比%	14.6	2.0	2.1	3.3	2.6	2.1	7.5	8.4	8.4	8.3	
		うち輸送機械(自動車)	前年比%	27.2	32.8	15.0	14.4	15.4	15.0	13.1	12.1	12.1	11.2	
		うち電気機械	前年比%	44.6	4.8	10.7	5.9	8.5	10.7	10.3	16.0	16.0	15.6	
		うち情報通信機器	前年比%	34.2	12.9	20.2	22.4	21.7	20.2	13.3	9.4	9.4	9.7	
		直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	1.1	10.1	8.6	9.2	9.3	8.6	0.7	3.2	3.2	4.9	
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	8.1	2.3	2.9	4.9	6.2	2.9	5.5	2.2	2.2	0.4	
		不動産景気指数	期中平均	101.6	95.6	97.3	97.3	97.3	96.8	96.7	95.2	94.8	94.8	
	貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	154.9	230.3	259.0	65.7	61.5	90.5	16.6	85.9	31.6	47.3	49.8
		輸出(ドルベース)	前年比%	20.3	7.9	7.8	3.7	3.9	7.4	3.5	4.9	7.2	14.5	9.4
		輸入(ドルベース)	前年比%	24.9	4.3	7.2	5.0	8.4	7.2	2.0	1.3	5.5	1.5	2.1
		対米貿易収支	10億ドル	202.3	218.9	215.9	51.5	60.3	63.1	38.7	58.7	19.9	22.3	24.5
		対日貿易収支	10億ドル	46.3	26.2	12.0	4.3	5.2	1.5	0.1	4.2	2.0	1.9	1.7
外貨準備	期末10億ドル	3181.1	3311.6	3821.3	3496.7	3662.7	3821.3	3948.1	3993.2	3993.2				
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	13.9	10.0	9.7	9.3	9.6	9.7	8.7	8.8	8.8	8.8		
	うち国有企業	前年比%	9.9	6.4	6.9	5.2	6.3	6.9	4.5	5.5	5.5	5.5		
	うち株式会社	前年比%	15.8	11.8	11.0	10.9	11.0	11.0	10.0	10.2	10.2	10.2		
	うち外商・港台企業	前年比%	10.4	6.3	8.3	7.4	7.9	8.3	7.8	7.4	7.4	7.1		
	発電量	前年比%	10.9	4.2	8.3	6.9	11.6	10.1	7.8	7.3	7.7	5.3		
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	51.4	50.8	50.8	50.5	50.8	51.3	50.3	50.7	51.0	51.7	51.1	
	うち新規受注	%	51.9	50.9	51.7	51.3	51.9	52.3	50.7	52.1	52.8	53.6	52.5	
うち雇用	%	50.2	49.4	48.9	48.8	49.2	49.2	48.2	48.4	48.6	48.3	48.2		
新規輸出受注	%	50.0	49.3	49.4	48.6	50.0	50.3	49.2	49.6	50.3	50.8	50.0		
所得雇用	都市一人当たり可処分所得(累計ベース)	前年比%	14.1	12.6	9.7	9.1	9.5	9.7	9.8	9.6				
	労働力市場求人倍率	期末	1.04	1.08	1.10	1.07	1.08	1.10	1.11	1.11				
	二次産業/全産業求人比率	期末%	40.4	40.8	40.3	41.8	40.9	40.3	44.2					
物価	消費者物価指数	前年比%	5.4	2.7	2.6	2.4	2.8	2.9	2.3	2.2	2.3	2.3		
	うち食品	前年比%	11.8	4.9	4.7	4.0	5.3	5.5	3.5	3.4	3.7	3.6		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.4	1.9	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1		
	生産者物価指数	前年比%	6.1	1.7	1.9	2.7	1.7	1.4	2.0	1.5	1.1	0.9		
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	13.8	13.6	14.0	14.2	13.6	12.1	14.7	14.7	13.5		
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	3.27	2.87	3.39	4.08	3.28	3.78	2.89	2.55	2.72	3.23	2.97	
	株価指数(上海総合)	期末	2,199	2,269	2,116	1,979	2,175	2,116	2,033	2,048	2,048	2,202	2,217	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.46	6.31	6.20	6.21	6.17	6.13	6.12	6.16	6.16	6.16	6.16	
為替レート(円/元)	期中平均	12.3	12.6	15.8	15.9	16.1	16.4	16.8	16.5	16.5	16.5	16.7		
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	4.8	1.5	2.9	3.0	3.0	2.9	2.6	1.8			
		うち民間消費	前年比%	8.4	4.1	4.3	4.7	2.7	3.6	1.5	1.2			
		うち固定資本形成	前年比%	10.2	6.8	3.3	7.6	2.7	5.3	3.5	5.6			
		名目GDP成長率	前年比%	8.9	5.3	4.3	3.6	4.6	4.4	4.8	5.4			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	18.5	7.1	10.8	14.9	7.4	7.0	2.7	8.4	9.1	2.6	
		貿易	貿易収支	10億HKドル	426	478	503	137	119	137	124	141	43	42
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	10.2	2.9	3.6	2.4	3.3	4.8	0.7	4.8	11.4	6.8	
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	11.9	3.9	3.8	3.5	2.7	4.4	2.1	4.6	7.6	7.5	
	物価	消費者物価指数	前年比%	5.3	4.1	4.3	4.0	5.3	4.3	4.2	3.6	3.6	4.1	
		金融	マネーサプライ(M3)	期末%	12.8	10.3	11.7	11.5	12.1	12.5	11.6	13.4	15.0	16.0
	ハンセン指数	期末ポイント	18,434	22,657	23,306	20,803	22,860	23,306	22,151	23,191	23,191	24,757	24,742	

(出所) CEIC (注) 固定資産投資統計の対象基準は2011年以降投資計画額50万円から500万円に変更。

2. 中国の主要指標解説：最近の国際収支状況

中国は、90年代前半に積極的な外資導入により輸出競争力を高め、国際収支の発展段階説でいうところの未成熟債務国（経常収支赤字＋金融収支黒字）から成熟債務国（経常収支・金融収支共に黒字）に移行したと見られる（図表1- ）。しかし、近年、旅行収支の赤字幅拡大を背景にサービス収支の赤字幅が拡大し、経常収支の黒字幅は横ばいで推移している（図表2、3）。ところで、習近平主席が掲げる「改革の全面深化」の中で資本市場の開放推進が謳われているが、現実にはアジア通貨危機時の1998年、欧州債務危機の2012年にはその他投資収支の大幅赤字から金融収支の黒字幅の大幅な縮小、ないし赤字化が生じている（図表1、4）。また近年は誤差脱漏項目で大幅な赤字が続いている（図表5）。これらを見ると、資本規制を敷いているとはいえないようだ。

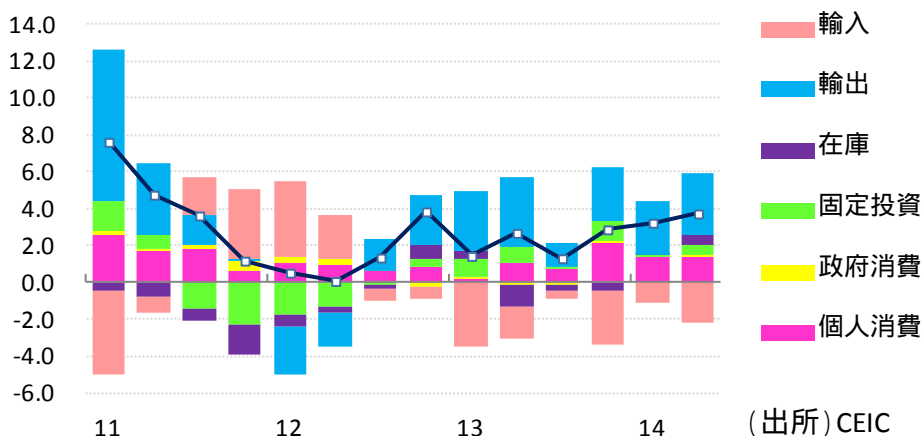


3. 台湾経済の概況

- ・内外需の持ち直しから景気は緩やかな回復基調にある。
- ・4-6月期の実質GDP成長率は前年比+3.7%と前期(同+3.2%)からさらに加速し、6四半期ぶりの高い成長率となった。雇用環境の改善と株高から個人消費が堅調に推移する一方、半導体や電子製品に対する海外の需要の拡大から輸出が増加し、これを受けて投資も拡大した。年後半もこうした状況が続くとの見通しから行政院(内閣)注計総処は今年の成長率見通しを5月時点の2.98%から3.41%に上方改訂した。
- ・7月の輸出は前年比+5.8%と前月(同+1.2%)から大幅に加速した。海外景気の持ち直しを背景に主力の電子製品に加えて鉱物、化学品の輸出も大幅な増加となった。輸出の好調を受けて、7月の鉱工業生産も前年比+6.1%と堅調な拡大となった。
- ・景気対策信号も直近7月まで6カ月連続して安定を示す「緑」が点灯している。

台湾:実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移

(前年比・寄与度、%)



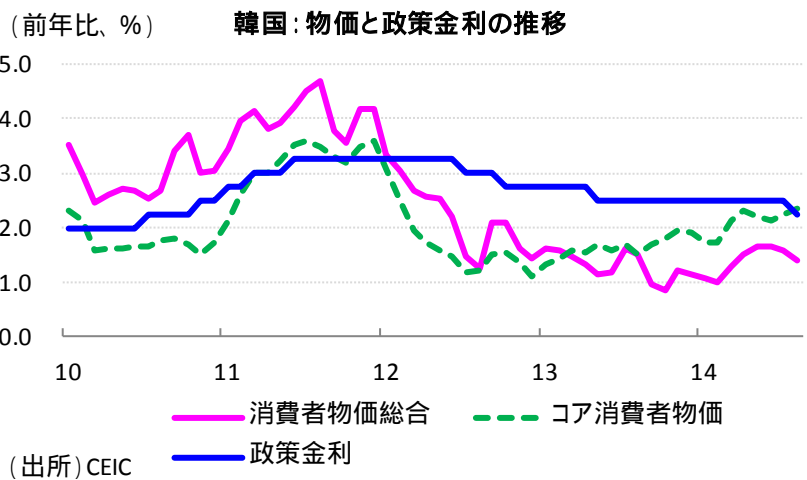
【台湾の主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.9	0.0	1.8	0.6	1.0			
	(前年比)	4.2	1.5	2.1	2.7	1.3	2.9	3.2	3.7			
	うち個人消費	3.1	1.6	2.0	2.0	1.5	4.3	2.5	2.5			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.3	4.0	4.7	5.4	0.6	6.9	0.2	3.7			
生産	鉱工業生産(yoy)	4.4	0.2	0.7	0.6	0.3	2.0	2.4	6.4	8.6	6.1	
消費	卸小売販売指数(yoy)	0.5	0.1	2.6	1.7	2.4	3.6	1.9	3.3	3.0	1.6	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	26.8	30.7	35.5	10.0	10.2	10.7	6.5	9.7	1.9	2.6	
	輸出(yoy)	12.3	2.3	1.4	2.4	0.8	1.8	1.0	2.9	1.2	5.8	
	輸出受注(yoy)	7.2	1.1	0.4	1.7	1.0	3.8	2.7	8.0	10.6	5.7	
	輸入(yoy)	12.0	3.9	0.2	3.6	3.4	2.1	1.6	3.8	7.5	9.5	
	経常収支(10億ドル)	41.7	50.6	57.3	14.0	14.9	17.2	15.5	16.5			
	外貨準備高(10億ドル)	386	403	417	407	413	417	419	423	423	424	423
雇用	失業率(季調値)	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	
物価	消費者物価(yoy)	1.4	1.9	0.8	0.8	0.0	0.6	0.8	1.6	1.6	1.8	2.1
金融	M2-サプライ(M2,yoy)	4.8	3.5	5.8	5.3	5.7	5.8	5.9	5.4	5.4	5.6	
	株価指数(加権指数)	7,072	7,700	8,612	8,062	8,174	8,612	8,849	9,393	9,393	9,316	9,436
	短期金利(オール-ナイト)	0.34	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	n.a.
	為替レート(NTドル/ドル)	29.5	29.6	29.8	30.0	30.0	29.6	30.4	30.2	30.0	30.0	30.0
	為替レート(円/NTドル)	2.70	2.69	3.28	3.29	3.30	3.39	3.38	3.38	3.40	3.39	3.43

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%), 貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・景気は4月に発生した沈没事故後の自粛ムードの影響が長引く中、一部に持ち直しの兆しもみえるものの、依然として低迷している。
- ・小売売上数量は4-6月期の前年比+0.8%から7月は同+0.6%と一段と減速している。一方、7月の鉱工業生産は輸出の持ち直しを背景に前年比+3.4%となった。8月の輸出は同-0.1%に落ち込んだが、これは自動車メーカーの時限ストや前年同月に比べて営業日数が少ないことが影響しているため、持ち直し基調は維持されているとみられる。
- ・景気の低迷を受けて韓国中銀は8月14日に政策金利の引下げ(2.50% → 2.25%)を決めた。8月の消費者物価上昇率は豊作による農産物価格の下落から前年比+1.4%に低下した。ただし、衣料品やサービス価格の上昇から農産品と石油製品を除くコア消費者物価はジリ高傾向にあり、追加緩和の可能性は低いとみられている。



【韓国の主要経済指標】

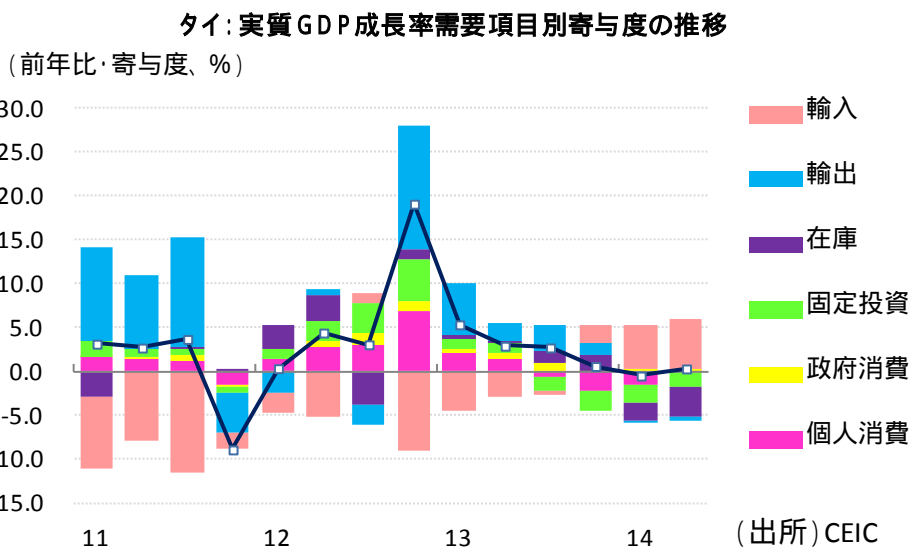
		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.0	1.1	0.9	0.9	0.5			
	(前年比)	3.7	2.3	3.0	2.7	3.4	3.7	3.9	3.5			
	うち個人消費	2.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.5	1.5			
	うち固定資本形成	0.8	0.5	4.2	5.0	5.9	7.8	5.9	3.4			
	うち設備	4.7	0.1	1.5	3.9	1.5	10.9	7.3	7.7			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.0	1.4	0.3	0.0	0.2	1.7	0.7	0.2	0.4	3.4	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.5	2.4	0.8	1.2	0.6	1.2	2.5	0.8	1.0	0.6	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	30.8	28.3	44.0	14.4	10.8	13.3	5.2	15.0	5.5	2.4	3.4
	輸出(yoy)	19.0	1.3	2.1	0.7	2.8	4.7	1.7	3.2	2.5	5.4	0.1
	輸入(yoy)	23.3	0.9	0.8	2.8	0.3	2.5	2.0	3.2	4.1	5.8	3.1
	経常収支(10億ドル)	18.7	50.8	79.9	20.8	23.8	24.8	15.1	24.1	7.9	7.9	
	外貨準備高(10億ドル)	306	327	346	326	337	346	354	367	367	368	368
雇用	失業率(季調値)	3.4	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.5	3.7	3.6	3.4	
物価	消費者物価(yoy)	4.0	2.2	1.3	1.2	1.4	1.1	1.1	1.6	1.7	1.6	1.4
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	5.5	4.8	4.6	4.9	4.2	4.6	5.0	5.7	5.7	7.3	
	株価指数(総合)	1,826	1,997	2,011	1,863	1,997	2,011	1,986	2,002	2,002	2,076	2,069
	CDレート(3ヵ月物)	3.44	3.30	2.72	2.73	2.67	2.65	2.65	2.65	2.65	2.65	2.52
	為替レート(ウォン/ドル)	1,108	1,127	1,095	1,123	1,111	1,062	1,069	1,030	1,019	1,020	1,025
	為替レート(円/100ウォン)	7.2	7.1	8.9	8.8	8.9	9.6	9.6	10.0	10.0	10.0	10.2

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

・治安の回復を背景に景気は持ち直してきている。
 ・4-6月期の実質GDP成長率は前年比+0.4%と前期の同-0.5%から持ち直した。政局混乱の影響で社会が不安定化する中、2013年7-9月期以降前年比マイナスで推移していた個人消費が4四半期ぶりに前年比プラス(+0.2%)に転じた。一方、在庫の大幅な調整も進んだ。ただし、投資や輸出入は依然、前年比マイナスで推移している。こうした状況を受けて国家経済社会開発庁は2014年成長率見通しの上限を5月時点の2.5%から2.0%に下方改訂した(下限は1.5%で変わらず)。またプラユット暫定首相は今後、インフラ投資の拡大により景気テコ入れを図る方針という。



【タイの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	0.1	6.5	2.9	2.9	2.7	0.6	0.5	0.4			
	個人消費	1.3	6.7	0.3	2.5	1.2	4.1	3.0	0.2			
	総固定資本形成	3.3	13.2	2.0	4.7	6.3	11.4	9.3	6.9			
生産	製造業生産指数(yoy)	8.5	2.2	3.2	5.1	3.6	7.1	7.0	4.8	6.3	5.2	
消費	個人消費指数(yoy)	3.7	5.6	0.3	0.7	2.2	0.9	1.7	0.7	1.4	0.2	
投資	民間企業投資指数(yoy)	8.1	15.2	0.3	2.0	3.6	6.9	7.2	3.5	2.7	3.4	
輸出入 BOPアース	貿易収支(10億ドル)	17.0	6.0	6.7	0.9	5.4	3.8	6.5	6.1	3.9	1.5	
	輸出(yoy)	14.3	3.1	0.2	1.9	1.8	0.9	0.8	0.6	3.8	0.5	
	輸入(yoy)	24.9	8.8	0.5	1.0	3.6	7.5	14.8	11.8	14.1	3.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.9	1.5	2.5	6.7	0.8	2.9	8.2	0.5	1.8	0.9	
	外貨準備高(10億ドル)	165.2	171.1	159.0	162.5	163.5	159.0	158.8	159.3	159.3	160.8	158.9
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	0.9	1.0	1.1	1.0	
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.8	3.0	2.2	2.3	1.7	1.7	2.0	2.5	2.4	2.2	2.1
	消費者物価(コア,yoy)	2.4	2.1	1.0	1.0	0.7	0.8	1.2	1.7	1.7	1.8	1.8
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	15.1	10.4	7.3	10.2	7.1	7.3	6.4	4.4	4.4	4.3	
	株価指数(SET)	1,025	1,392	1,299	1,452	1,383	1,299	1,376	1,486	1,486	1,502	1,562
	インターバンク金利(3M)	3.12	3.08	2.69	2.75	2.60	2.52	2.34	2.18	2.18	2.18	n.a.
	為替レート(バーツ/\$)	30.5	31.1	30.7	29.9	31.5	31.7	32.7	32.5	32.5	32.1	32.0
	為替レート(円/バーツ)	2.61	2.57	3.17	3.30	3.14	3.16	3.15	3.15	3.14	3.17	3.22

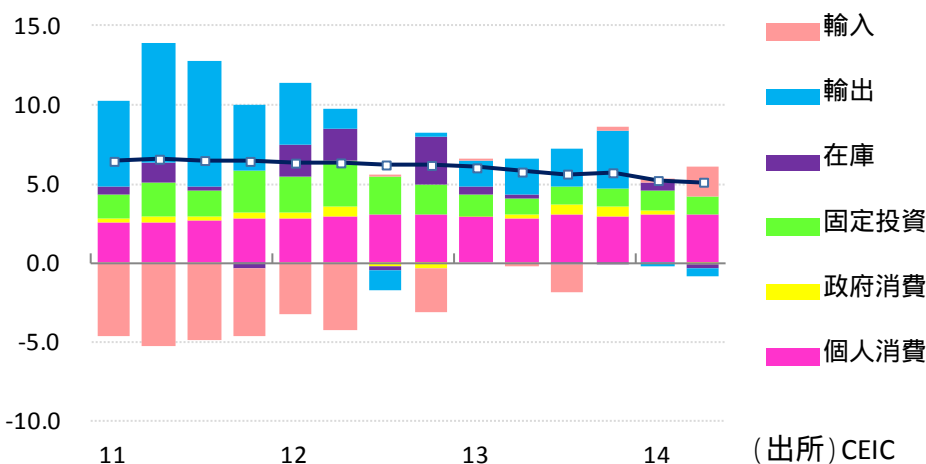
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは一段と緩やかになっている。
- ・4-6月期の実質GDP成長率は前年比+5.1%と前期(同+5.2%)から小幅鈍化した。個人消費(前年比+5.6%)・固定投資(同+4.5%)とも堅調を維持したものの、輸出が未加工鉱物禁輸措置の影響で同-1.0%と振るわず、成長率の押し下げ要因となった。
- ・7月以降、インドネシア政府と各鉱山会社との間で輸出再開に向けての合意が成立しており、今後は輸出の増加とともに景気も緩やかに持ち直すとみられる。
- ・8月の消費者物価は食品価格の安定と燃料補助金削減の影響一巡から前年比+4.0%に低下した。ただし、経常収支の赤字縮小が進んでいないこと、燃料補助金の削減が継続される見込みであることから当面、中銀による利下げはないとみられている。

インドネシア:実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移

(前年比・寄与度、%)



【インドネシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.5	6.3	5.8	5.8	5.6	5.7	5.2	5.1			
	個人消費	4.7	5.3	5.3	5.1	5.5	5.3	5.6	5.6			
	総固定資本形成	8.3	9.7	4.7	4.5	4.5	4.4	5.1	4.5			
生産	製造業生産(yoy)	4.1	4.1	6.0	6.8	7.2	1.5	3.5	4.6	7.3		
消費	小売売上(yoy)	9.0	14.5	12.9	12.3	9.2	19.7	20.2	12.9	8.6	12.2	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.1	1.7	4.1	3.1	3.1	2.3	1.1	2.2	0.3	0.1	
	輸出(yoy)	28.9	6.6	3.9	5.8	6.9	3.3	2.5	2.5	4.4	6.0	
	(除く石油ガス,yoy)	24.8	5.5	2.0	2.1	5.6	2.6	2.3	2.0	5.6	9.2	
	輸入(yoy)	30.8	8.0	2.6	3.8	0.9	6.9	5.3	4.2	0.4	19.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.7	24.4	29.1	10.1	8.6	4.3	4.2	9.1			
	外貨準備高(10億ドル)	103.4	105.3	92.9	91.6	88.9	92.9	95.8	100.9	100.9	103.8	104.6
物価	消費者物価(yoy)	5.3	4.0	6.4	5.1	8.0	8.0	7.8	7.1	6.7	4.5	4.0
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	15.0	12.7	11.8	14.6	12.7	10.0	13.1	13.1	10.8	
	株価指数(総合)	3,822	4,317	4,274	4,819	4,316	4,274	4,768	4,879	4,879	5,089	5,137
	中銀債金利(3ヵ月)	6.00	5.75	7.50	6.00	7.25	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート(比ドル)	8,773	9,419	10,563	9,818	10,938	11,800	11,755	11,704	11,969	11,591	11,717
	為替レート(円/100比)	0.91	0.85	0.93	1.01	0.90	0.86	0.87	0.87	0.85	0.88	0.89

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標
【マレーシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	5.2	5.6	4.7	4.5	5.0	5.1	6.2	6.4			
	個人消費	6.9	8.2	7.2	6.8	8.0	7.4	7.1	6.5			
	総固定資本形成	6.3	19.2	8.5	5.9	9.4	6.5	6.3	7.2			
生産	鉱工業生産(yoy)	1.2	4.4	3.4	5.3	5.5	2.9	4.7	5.8	6.9		
消費	自動車販売台数(yoy)	0.8	4.6	4.5	4.3	11.0	0.9	1.4	11.2	9.2	11.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	40.6	31.1	22.5	2.7	5.7	8.6	8.0	5.7	1.3	1.1	
	輸出(yoy)	15.0	0.3	0.4	4.0	3.7	5.0	3.6	8.5	5.6	0.8	
	輸入(yoy)	14.2	4.8	4.9	4.0	3.6	6.4	1.4	3.1	6.6	0.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	33.5	17.6	12.7	0.6	3.1	4.6	6.0	4.9			
	外貨準備高(10億ドル)	120	126	122	124	124	122	118	120	120	120	121
雇用	失業率(%)	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2	2.9	2.8		
物価	消費者物価(yoy)	3.2	1.7	2.1	1.8	2.2	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.7	9.7	8.4	9.0	8.0	8.4	6.3	5.6	5.6	5.6	
	株価指数(総合)	1,531	1,689	1,867	1,774	1,769	1,867	1,849	1,883	1,883	1,871	1,866
	1ヶ月の金利(1M,%)	2.97	3.06	3.07	3.06	3.07	3.07	3.07	3.08	3.10	3.24	n.a.
	為替レート(リキ/ドル)	3.06	3.09	3.15	3.07	3.24	3.21	3.30	3.23	3.22	3.18	3.18
	為替レート(円/リキ)	26.0	25.8	30.9	32.1	30.5	31.3	31.2	31.6	31.7	31.9	32.4

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	3.7	6.8	7.2	7.9	7.0	6.3	5.6	6.4			
	個人消費	5.6	6.6	5.7	5.1	6.2	5.9	5.9	5.3			
	固定資本形成	1.9	10.8	11.9	13.6	9.5	8.0	11.0	4.0			
生産	鉱工業生産(yoy)	2.1	7.0	5.4	2.6	9.4	15.0	3.6	11.4	10.1		
消費	自動車販売台数(yoy)	15.9	10.6	15.7	12.2	14.1	10.7	22.9	26.8	37.8	32.2	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.2	10.0	5.7	1.2	1.9	1.6	1.9	0.4	0.7		
	輸出(yoy)	6.2	7.9	8.8	1.8	11.4	19.3	6.9	9.7	21.3		
	輸入(yoy)	10.1	2.7	0.5	0.2	7.8	0.6	12.4	1.2	3.6		
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.6	6.9	9.4	2.1	1.9	3.7	2.0				
	外貨準備高(10億ドル)	75.3	83.8	83.2	81.3	83.5	83.2	79.6	80.7	80.7	80.6	80.8
雇用	失業率(%)	7.4	7.2	7.2	7.5	7.3	6.5	7.5	7.0			
物価	消費者物価(yoy)	4.7	3.2	2.9	2.6	2.4	3.5	4.1	4.4	4.4	4.9	4.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	6.3	10.6	33.4	20.6	31.7	33.4	35.5	23.7	23.7		
	株価指数(総合)	4,372	5,813	5,890	6,465	6,192	5,890	6,429	6,844	6,844	6,865	7,051
	国債(3ヵ月,%,期末)	1.56	0.20	0.00	0.90	0.87	0.00	1.000	1.035	1.035	1.157	1.37
	為替レート(ペソ/ドル)	43.3	42.2	42.4	41.8	43.7	43.6	44.9	44.1	43.8	43.5	43.8
	為替レート(円/ペソ)	1.84	1.89	2.30	2.36	2.26	2.30	2.29	2.32	2.33	2.34	2.35

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

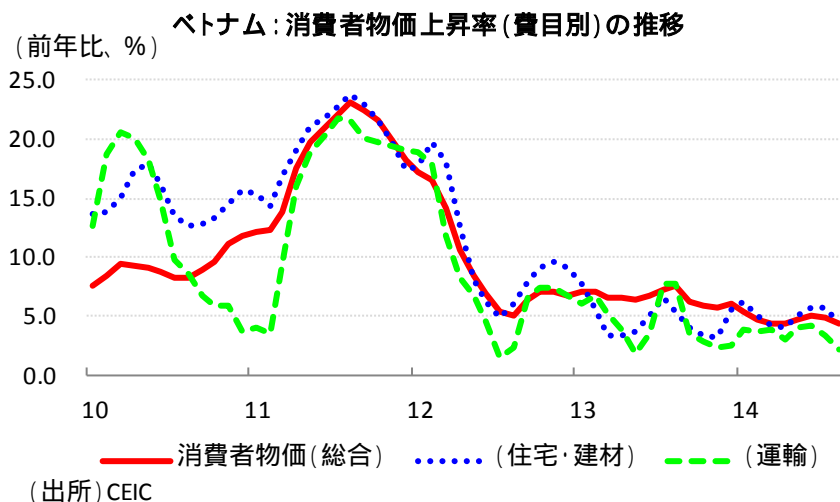
【シンガポールの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.1	2.5	3.9	4.0	5.0	4.9	4.8	2.4			
	個人消費	4.3	3.9	2.6	2.8	2.6	2.1	2.0	1.3			
	総固定資本形成	4.3	8.9	1.9	1.8	3.4	4.6	1.1	1.8			
生産	鉱工業生産(yoy)	7.8	0.3	1.7	0.8	5.2	7.1	9.9	1.5	0.8	3.3	
消費	小売売上金額(yoy)	9.6	5.5	4.3	0.3	7.2	7.8	4.2	4.9	0.4		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.8	28.6	37.3	10.5	9.0	10.5	8.2	10.5	4.7	3.3	
	輸出(yoy)	16.5	0.2	0.5	1.0	4.0	3.7	4.9	2.4	4.7	0.4	
	輸入(yoy)	17.7	3.9	1.8	2.8	4.1	0.8	4.2	2.7	1.6	1.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.6	50.2	54.6	15.2	14.8	13.5	13.2	15.1			
	外貨準備高(10億ドル)	238	259	273	260	268	273	273	278	278	274	273
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	1.9	2.0	1.8	1.8	2.0	2.0			
物価	消費者物価(yoy)	5.2	4.6	2.4	1.6	1.8	2.0	1.0	2.4	1.8	1.2	
金融	マネーサプライ(M2,%)	10.0	7.2	4.3	9.1	7.5	4.3	2.0	0.6	0.6	1.7	
	株価指数(Straits)	2,646	3,167	3,167	3,150	3,168	3,167	3,189	3,256	3,256	3,374	3,327
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.39	0.38	0.40	0.37	0.37	0.40	0.41	0.40	0.40	0.40	0.41
	為替レート(Sドル/ドル)	1.26	1.25	1.25	1.25	1.27	1.25	1.27	1.25	1.25	1.24	1.25
	為替レート(円/Sドル)	63.4	63.8	77.9	79.0	78.0	80.3	81.0	81.5	81.5	81.8	82.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気に緩やかながら持ち直しの動きがみえる。
- ・8月の鉱工業生産は前年比+6.7%と堅調な増加が続いている。品目別には、通信機器(前年比+275.3%)、塗料(同+32.6%)、履物(同+22.4%)、紙製品(同+22.2%)、自動車(同+22.2%)などの生産が大きく拡大した。
- ・8月の輸出は前年比+9.0%増加し、輸入の大幅な増加(同+14.0%)にもかかわらず、貿易収支は4カ月ぶりに黒字(1億ドル)に転じた。品目別には繊維・衣料品(同+19.6%)、履物(同+25.4%)、原油(同+27.5%)が輸出の増加を牽引した。
- ・8月の消費者物価は前年比+4.3%に低下した。2012年9月以降の診療報酬引上げの影響が一巡したこと、原油の国際価格の下落から国内のガソリン価格が引き下げられたことが寄与している。今後は景気の持ち直しに傾向に加えて、6月の通貨切り下げの影響もあり、物価上昇率はジリ高に転じるとみられている。



【ベトナムの主要経済指標】

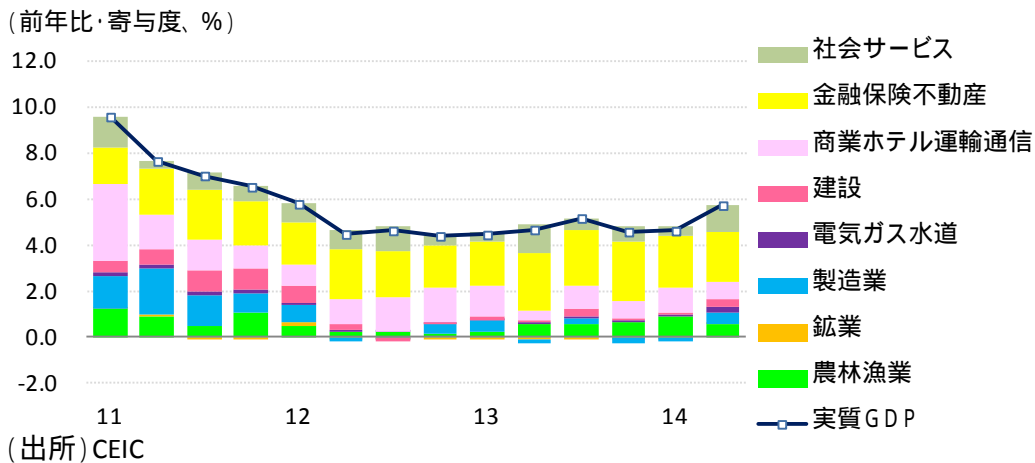
		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2	5.2	5.4	4.9	5.1	5.4	5.1	5.2			
	農業	4.0	2.7	2.6	2.1	2.4	2.7	2.4	3.0			
	工業・建設	6.7	5.7	5.4	5.2	5.2	5.4	4.7	5.3			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.7	4.8	5.9	6.3	5.7	6.2	7.6	6.0	6.1	7.5	6.7
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.2	16.0	12.6	11.9	12.5	12.6	10.2	10.7	10.7	11.4	11.4
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.9	2.0	0.4	1.2	0.9	0.6	0.7	0.4	0.1	0.0	0.1
	輸出(yoy)	33.1	20.0	16.5	14.6	15.8	16.8	12.2	15.7	12.4	11.4	9.0
	輸入(yoy)	24.4	7.9	18.2	18.1	15.9	19.0	10.4	10.5	15.9	15.6	14.0
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.2	9.1	9.5	1.5	3.9	1.7	3.3				
	外貨準備高(10億ドル)	13.1	25.2	25.5	24.5	24.0	25.5	33.3				
物価	消費者物価(yoy)	18.6	9.3	6.6	6.6	7.0	5.9	4.8	4.7	5.0	4.9	4.3
金融	株価指数(VN index)	351.6	413.7	504.6	481.1	492.6	504.6	591.6	578.1	578.1	596.1	636.7
	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,547	20,828	20,949	20,897	21,036	21,036	21,036	21,106	21,246	21,246	21,246
	為替レート(円/100ドン)	0.39	0.38	0.47	0.47	0.47	0.48	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%), ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気に持ち直しの動きが見える。
- ・4-6月期の実質GDP成長率は前年比+5.7%と2012年1-3月期の同+5.8%以来9四半期ぶりの高い成長率となった。産業別には、堅調な拡大を続ける金融・保険・不動産と商業・ホテル・運輸・通信に加えて、今期は製造業が同+3.5%と3四半期ぶりにプラスに転じた。さらに2四半期続けて同+1%未満の成長にとどまっていた建設も今期は同+4.8%と大きく伸びた。またこうした生産活動の活発化を反映して電気・ガス・水道も同+10.2%と二桁台の成長となった。
- ・8月の消費者物価は、全体の約50%のウェイトを占める食品・飲料・煙草の価格が前年比+9.1%に加速したことから同+8.0%に上昇した。モンスーン期の降雨量によってはインフレが一段と加速する可能性もあり、インド経済にとって依然として大きなリスク要因とみられる。

インド：実質GDP成長率産業別寄与度の推移



【インドの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/6月	14/7月	14/8月
GDP (yoy)	実質GDP	7.7	4.8	4.7	4.7	5.2	4.6	4.6	5.7			
	農業生産	6.3	1.9	3.5	4.0	5.0	3.7	6.3	3.8			
	実質GDP(年度)	6.7	4.5	4.7								
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	0.7	0.6	1.0	1.9	0.8	0.4	3.9	3.4		
消費	新車販売台数(yoy)	5.7	9.8	7.5	7.2	2.9	6.9	6.9	1.3	11.2	6.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	161.6	192.9	151.4	47.4	29.7	30.8	28.2	34.5	11.7	12.2	
	輸出(yoy)	33.8	2.0	6.0	0.1	12.9	7.1	2.2	7.0	9.6	7.3	
	輸入(yoy)	32.6	5.4	4.8	3.7	8.3	14.9	13.6	6.4	7.8	4.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.8	91.8	49.2	21.8	5.2	4.1	1.3	7.9			
	外貨準備高(10億ドル)	262.9	261.7	267.7	254.4	248.8	267.7	276.4	289.3	289.3	292.5	291.4
物価	卸売物価(yoy)	9.5	7.5	6.3	4.8	6.6	7.1	5.4	5.7	5.4	5.2	
	消費者物価(yoy)	9.6	9.7	10.1	9.5	9.7	10.4	8.4	8.1	7.5	8.0	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	16.0	11.2	14.8	12.7	13.0	14.8	13.2	12.2	12.2	12.7	13.0
	株価指数(BSE Sensitive)	15,455	19,427	21,171	19,396	19,380	21,171	22,386	25,414	25,414	25,895	26,638
	TB3ヶ月	8.06	8.41	8.81	7.45	10.99	8.74	8.97	8.69	8.56	8.65	8.60
	為替レート(ルピー/ドル)	46.9	53.6	59.0	56.8	63.5	61.9	61.5	59.8	60.1	60.2	60.5
	為替レート(円/ルピー)	1.69	1.49	1.66	1.74	1.54	1.64	1.66	1.70	1.69	1.71	1.72

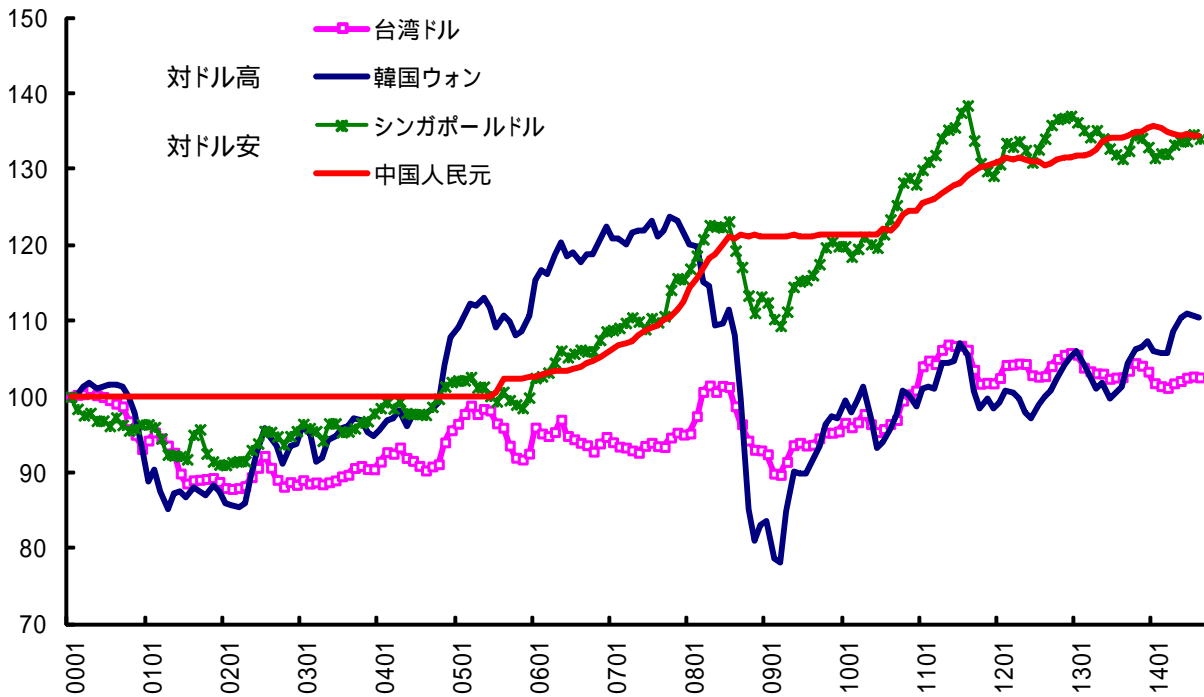
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

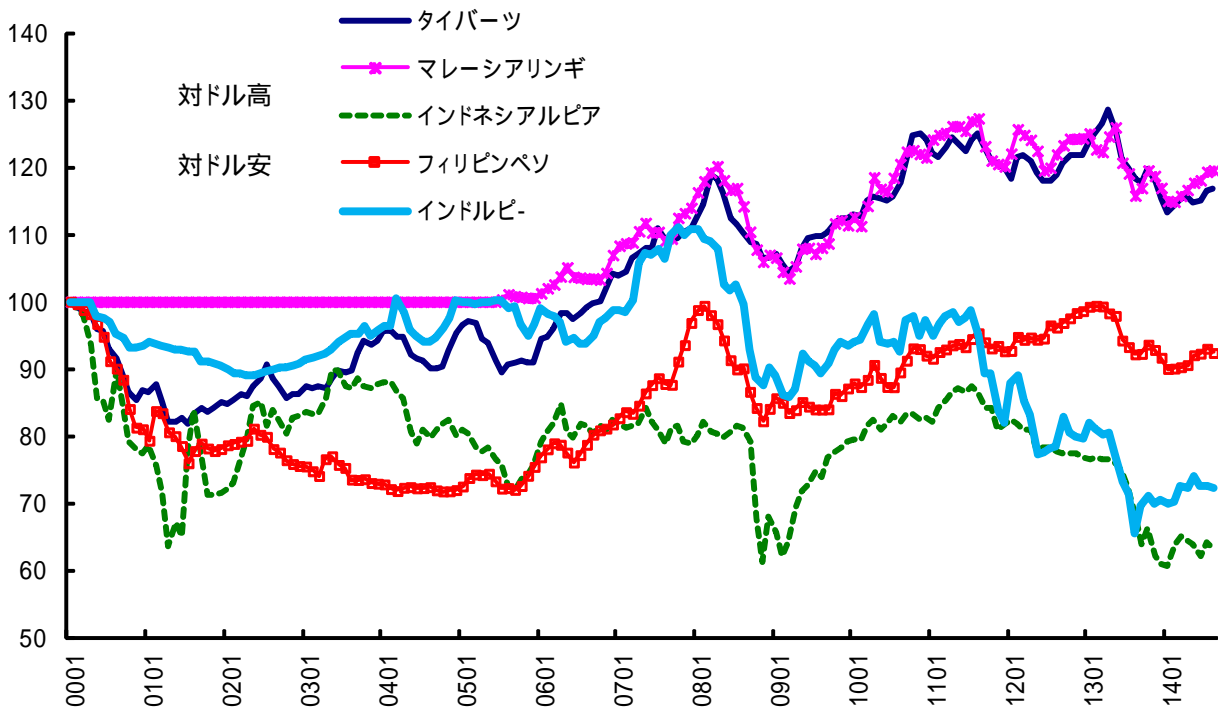
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

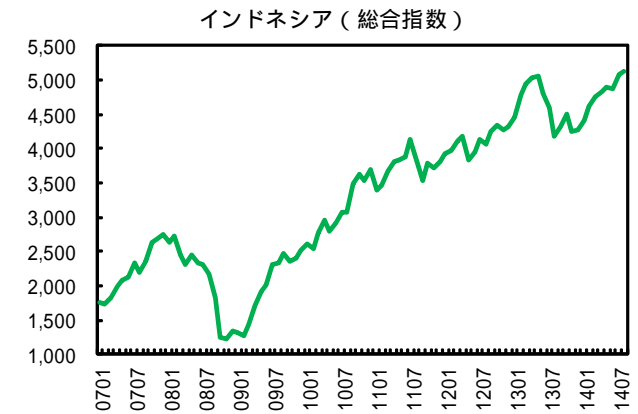
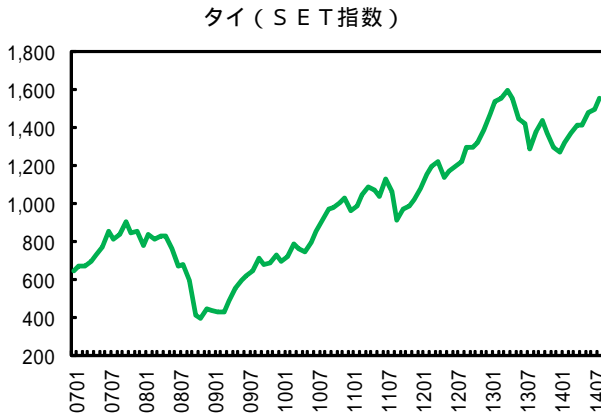
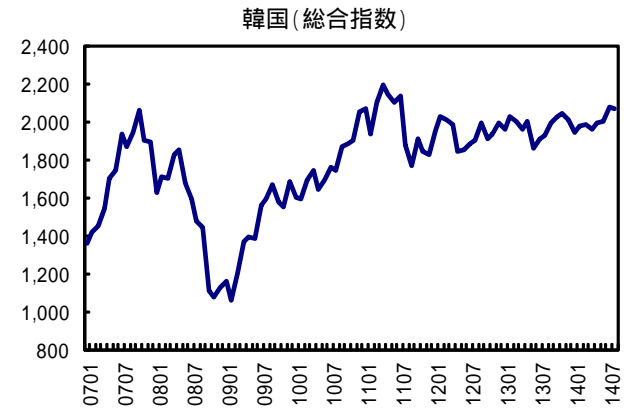
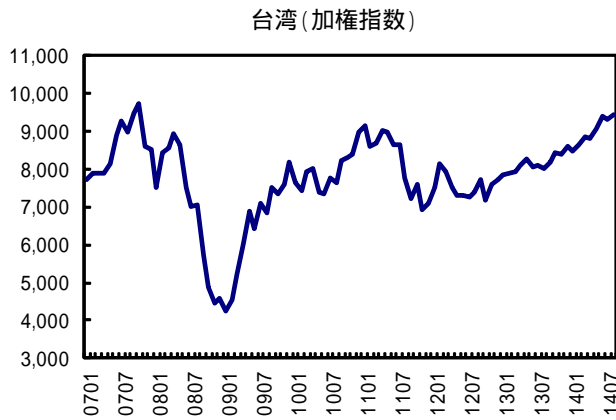
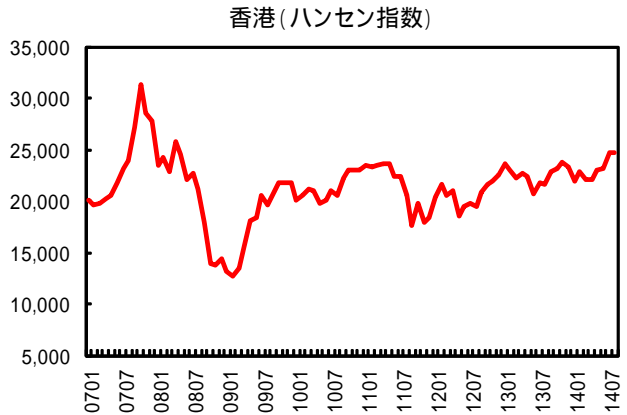
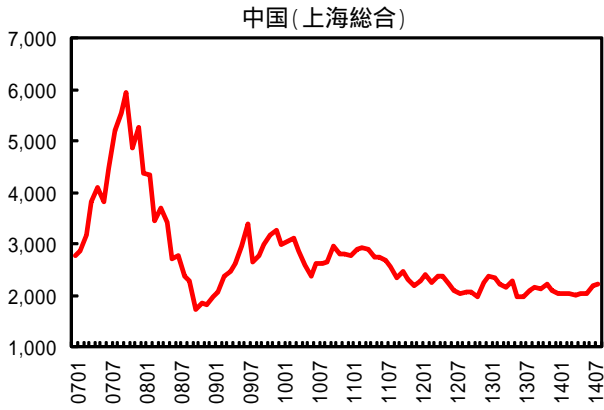


(2000年1月 = 100)



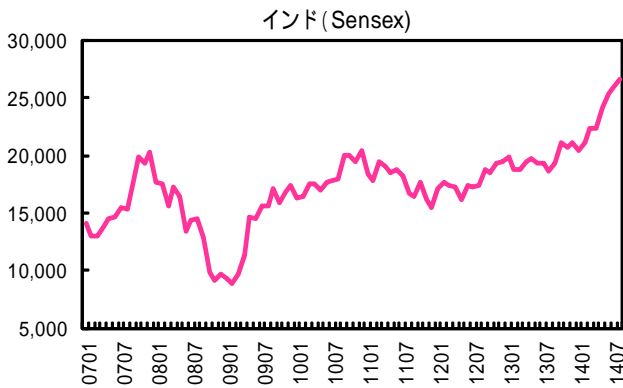
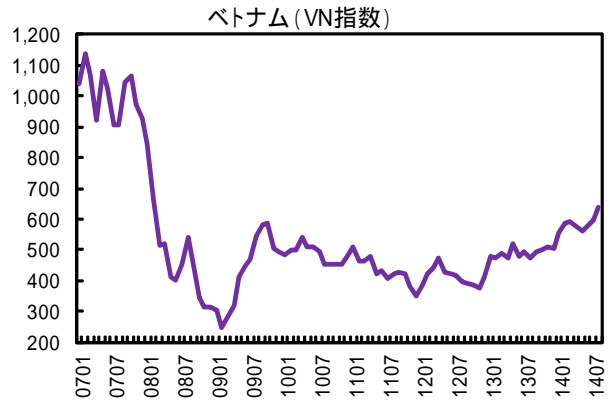
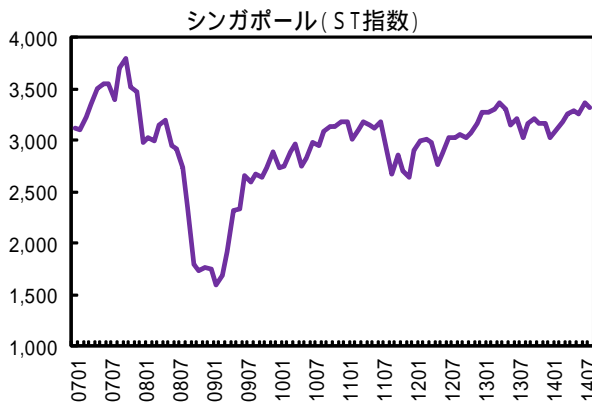
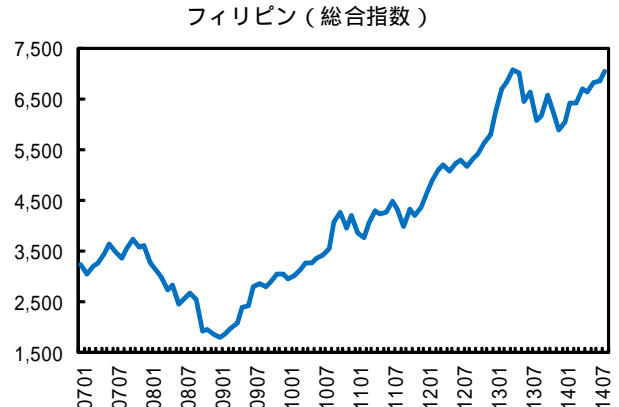
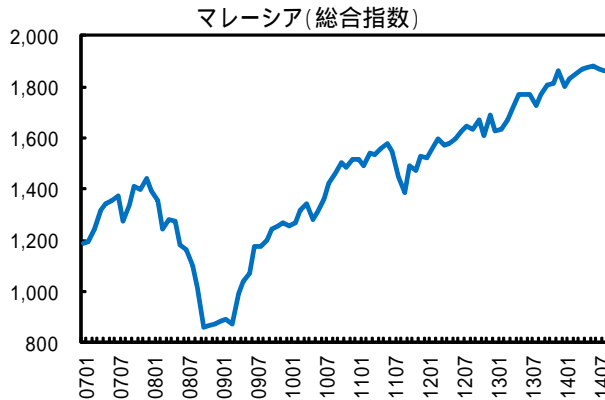
(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



（出所）CEIC

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。